

経営比較分析表（平成30年度決算）

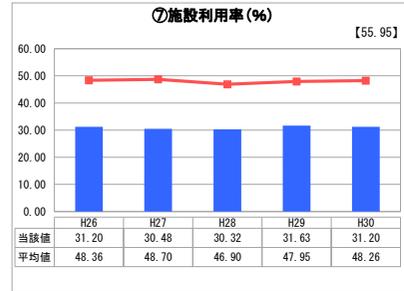
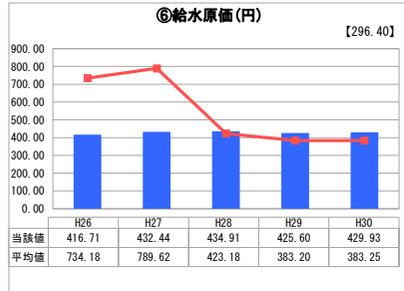
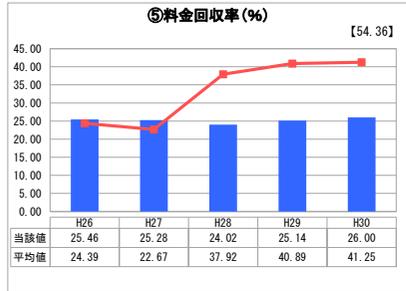
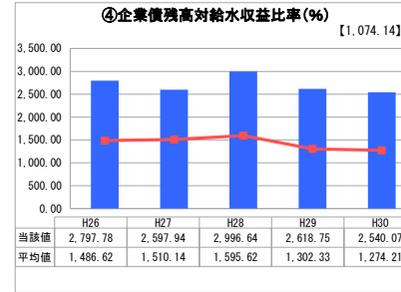
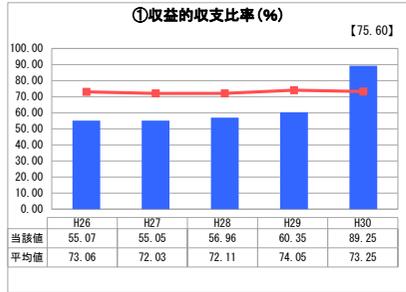
岡山県 新庄村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	95.86	1,890	

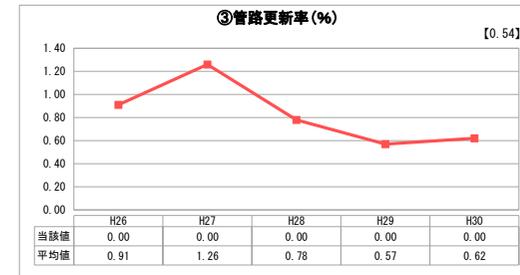
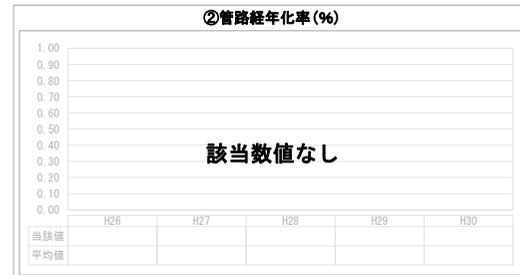
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
930	67.11	13.86
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
879	27.02	32.53

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率は、大幅に改善しているように見えるが、実際には料金収入等は前年以前と変わっていない。簡易水道施設の統合により廃止した浄水場の取り壊しをH30年度に予定していたが、H31年度に事業を繰越したことにより、歳出が減った一方で一般会計からの繰入金で歳入として計上されたことによる。企業債残高対給水収益比率は、類似団体より高い傾向にあるが、これは、簡易水道の統合事業等を行ったため、水道事業の収益に対して企業債残高が高くなったためである。統合事業等は平成28年度に終了したため、今後、企業債残高は減少していく見込みである。また、給水原価は類似団体並となっているが、料金回収率、施設利用率は、類似団体を下回っており、経営の効率性は悪いと言える。上記のとおり簡易水道事業は、給水収益で賄えない状況である。企業債の償還等もあり、一般会計からの繰入金で事業運営を行っている状況である。

2. 老朽化の状況について

老朽化した管路の割合は8%弱である。

全体総括

新庄村簡易水道事業の経営について、今後、料金収納率の向上、料金改定の検討、経営の効率化を図り、企業会計の健全化を進める。また、老朽化対策等については、水道事業の経営バランスを考慮し、更新を進めていく。